



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月9日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成30年10月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	2,786	0.4	287	5.4	294	4.9	202	0.1
30年2月期第2四半期	2,798	5.6	273	16.6	280	12.9	202	16.2

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 192百万円 (6.1%) 30年2月期第2四半期 204百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	7.67	
30年2月期第2四半期	7.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	5,665	4,852	85.6	183.83
30年2月期	5,576	4,844	86.8	183.49

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 4,852百万円 30年2月期 4,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		7.00	7.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,787	4.2	603	14.4	600	10.4	419	11.2	15.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	32,237,249 株	30年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	5,844,059 株	30年2月期	5,844,057 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	26,393,192 株	30年2月期2Q	26,672,632 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

当社は、以下のとおり投資家説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成30年10月15日・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、国内において個人消費は力強さを欠き、また、米政権政策の影響による海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境下、雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しており、当社の収益基盤である静岡県においては平成30年8月の有効求人倍率が前年同月比0.14ポイント上昇の1.70倍となり、雇用環境は底堅く推移しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、企業の採用意欲が継続している市場環境下、重点地域である名古屋、西三河エリアにおいて、応募効果の向上を図るため、無料求人誌『DOMO（ドモ）』、求人情報サイト『DOMO NET（ドモネット）』、合同求人チラシ『DOMO（ドモ）リーフ』をセットにした商材の販売強化に努めました。また、属性に応じた求人ニーズに応えるべく、製造業を対象とした『工場のお仕事紹介フェア』や子育てママから就職、転職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman（ウーマン）』、等のリアルマッチングイベントの開催や、介護業界や警備・清掃・ビルメンテナンス業界に特化した『DOMOリーフ』特別号を発行いたしました。

外国人採用支援事業では、平成30年3月に日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair（ジョブフェア）』を継続開催いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,786百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。売上原価は、871百万円（前年同四半期比0.7%増）、販売費及び一般管理費は、1,626百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。営業利益は、287百万円（前年同四半期比5.4%増）、経常利益は294百万円（前年同四半期比4.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

（情報提供事業）

情報提供事業では、『DOMO』静岡県内版の売上は減少したものの、ネット商品である正社員向け転職・就職サイト『JOB（ジョブ）』・求人情報サイト『DOMO NET』の販売が堅調に推移し、前連結会計年度に投入した顧客専用の採用管理システムを提供する新サービスの販売も増加したことから、売上高は2,314百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は583百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

（販促支援事業）

販促支援事業では、子育て主婦向けダイレクトプロモーションの販売は伸長したものの、主たる事業であるフリーペーパーの取次において大口顧客の休刊等により販売が減少し、販促支援事業における売上高は499百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が5,665百万円（前連結会計年度末比1.6%増）、負債が813百万円（前連結会計年度末比11.1%増）、純資産が4,852百万円（前連結会計年度末比0.2%増）となりました。また、自己資本比率は85.6%となりました。

資産の部では、流動資産が4,800百万円（前連結会計年度末比1.7%増）となりました。内訳として、現金及び預金が4,136百万円（前連結会計年度末比3.2%増）、売掛金が533百万円（前連結会計年度末比9.6%減）等となったためです。

固定資産は864百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。内訳として、有形固定資産が611百万円（前連結会計年度末比0.9%増）、無形固定資産が102百万円（前連結会計年度末比20.9%増）、投資その他の資産が149百万円（前連結会計年度末比7.9%減）となったためです。

負債は813百万円（前連結会計年度末比11.1%増）となりました。これは、未払金が417百万円（前連結会計年度末比3.6%減）、未払法人税等が115百万円（前連結会計年度末比46.3%増）、賞与引当金が98百万円（前連結会計年度末比62.1%増）等となったためです。

純資産は4,852百万円（前連結会計年度末比0.2%増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,931百万円（前連結会計年度末比0.4%増）等となったためです。

①キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて126百万円増加し、4,136百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、328百万円（前年同四半期は333百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が291百万円、賞与引当金の増加額が37百万円、売上債権の減少額が56百万円等となった一方で、未払債務の減少額が41百万円、法人税等の支払額が65百万円等となったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、15百万円（前年同四半期は7百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2百万円、無形固定資産の取得による支出が13百万円等となったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、183百万円（前年同四半期は351百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額が183百万円等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期業績予想につきましては、平成30年4月10日付「平成30年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,009,583	4,136,171
売掛金	590,206	533,441
その他	122,583	131,678
貸倒引当金	△307	△307
流動資産合計	4,722,065	4,800,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	151,975	147,075
土地	444,475	444,475
その他(純額)	10,070	20,158
有形固定資産合計	606,520	611,709
無形固定資産		
ソフトウェア	74,384	92,136
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	84,990	102,742
投資その他の資産		
その他	164,311	151,362
貸倒引当金	△1,547	△1,428
投資その他の資産合計	162,763	149,934
固定資産合計	854,274	864,386
資産合計	5,576,340	5,665,370
負債の部		
流動負債		
未払金	433,508	417,709
未払法人税等	79,077	115,652
賞与引当金	60,546	98,136
その他	158,664	181,755
流動負債合計	731,796	813,253
負債合計	731,796	813,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,913,272	4,931,050
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	4,833,694	4,851,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,866	3,477
為替換算調整勘定	△1,514	△2,832
その他の包括利益累計額合計	9,352	644
非支配株主持分	1,496	-
純資産合計	4,844,543	4,852,117
負債純資産合計	5,576,340	5,665,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	2,798,520	2,786,225
売上原価	865,535	871,768
売上総利益	1,932,985	1,914,457
販売費及び一般管理費	1,659,841	1,626,644
営業利益	273,143	287,812
営業外収益		
受取利息	85	87
受取賃貸料	420	420
投資事業組合運用益	2,584	5,163
為替差益	—	476
その他	8,746	2,061
営業外収益合計	11,835	8,209
営業外費用		
その他	4,203	1,595
営業外費用合計	4,203	1,595
経常利益	280,775	294,426
特別損失		
減損損失	4,768	2,714
特別損失合計	4,768	2,714
税金等調整前四半期純利益	276,007	291,711
法人税、住民税及び事業税	44,905	103,777
法人税等調整額	29,488	△13,213
法人税等合計	74,394	90,564
四半期純利益	201,613	201,147
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△757	△1,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,370	202,530

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	201,613	201,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,268	△7,388
為替換算調整勘定	△129	△1,432
その他の包括利益合計	3,139	△8,820
四半期包括利益	204,753	192,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,561	193,823
非支配株主に係る四半期包括利益	△808	△1,496

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	276,007	291,711
減価償却費	24,539	18,432
減損損失	4,768	2,714
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△91	△119
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,703	37,589
受取利息及び受取配当金	△85	△87
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,319	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,584	△5,163
売上債権の増減額(△は増加)	72,289	56,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,037	169
未払債務の増減額(△は減少)	△39,229	△41,583
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,451	8,573
その他	24,326	18,008
小計	382,812	387,010
利息及び配当金の受取額	84	6,786
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△49,842	△65,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,055	328,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,932	△2,400
無形固定資産の取得による支出	△4,472	△13,715
投資有価証券の売却による収入	7,350	—
敷金及び保証金の差入による支出	△283	△40
敷金及び保証金の回収による収入	64	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,273	△15,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△163,271	△0
配当金の支払額	△188,385	△183,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351,656	△183,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△634	△1,832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,509	126,588
現金及び現金同等物の期首残高	3,849,810	4,009,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,823,301	4,136,171

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,286,336	512,184	2,798,520	—	2,798,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23,952	23,952	△23,952	—
計	2,286,336	536,136	2,822,473	△23,952	2,798,520
セグメント利益	513,564	84,519	598,084	△324,940	273,143

(注) 1. セグメント利益の調整額△324,940千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△327,160千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,768千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,314,602	471,623	2,786,225	—	2,786,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28,140	28,140	△28,140	—
計	2,314,602	499,764	2,814,366	△28,140	2,786,225
セグメント利益	583,620	44,707	628,327	△340,515	287,812

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,515千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△342,735千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,714千円であります。